

上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

大船山

第 14 号
令和 4 年 11 月 14 日

ホームページ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

生活総合発表会に願いを込めて

校 長 細江 幸次

10月に海外からの入国に関する規制が大きく緩和されました。30数年ぶりという円安も手伝ってか、海外からたくさんの方が日本各地で観光や買い物を楽しんでいるようです。ある報道番組では、大阪のたこ焼きを長蛇の列の一人として買い求め、数人の仲間とおいしそうに食べている様子や京都の観光地で「一番」や「必勝」の漢字が入った鉢巻をして記念撮影をする様子、寿司店に入って職人技に見とれながら和食に舌鼓を打っている様子、金物店に並ぶたくさんの刃物の中から長年探し続けた、お目当ての包丁を手に取り、嬉々としている様子などが次々と映し出されていました。私たちが普段ごく当たり前のように目にしている食べ物、物品は海外の方たちには少し受け止め方が違うような感じがします。たこ焼きのように素朴でおいしいものが安価で手軽に食べることができる国、文字そのものに意味があり、複雑でありながらデザイン性の高さを感じる文字を操る国、長年の修業(努力)によって得た技と素材のもつよさを最大限に引き出すことによってできる食文化をもつ国、機械には決してできない熟練の技によってでき上がる高品質の道具を生み出す国、……他国には見ることができない唯一無二の文化を有し、それらをおもてなしの精神で迎え入れる人々に海外の方たちは魅了されているのかもしれません。

また、これらの日本文化は、それらに携わる方たちの日々の努力に支えられ、今日まで続いているわけですが、そのことを正しく理解し、わかりやすく正確に広く伝える方が間に存在しているから、多くの観光客が訪れているということも忘れてはいけません。

11月19日(土)の生活総合発表会が近づいてきました。この発表会の主なねらいは、

- ① 生活科(低学年)、総合的な学習の時間(中、高学年)で体験したこと、学んだことを発表する。
- ② ご協力いただいた地域講師の方々へ感謝の気持ちを伝える発表をする。

となっています。発表を参観する方たちがどのような人たちなのか(相手意識)をよく考え、その人たちによくわかってもらえるように伝える工夫をすることが大切になってきます。そして、その伝える内容は伝える相手によって変わってきます。参観者を意識すると、その内容は以下のようにになると考えます。

- * 地域協力者に伝える……感謝の気持ち、体験を通じた意識の変化、これからの自分(地域人として) 等
- * 保護者に伝える……成長した姿、これからの自分(新たなめあて、誓い) 等
- * 下学年に伝える……学習内容の紹介、次年度への引継ぎ 等

このような内容をきちんと伝えようとすると発表する側は改めて自分たちが学んだことをより深く振り返り、発表内容を考えるようになります。私は、この「学び直し」の場と時間がとても大切で、この時に子どもたちは体験を通して学んだことをより深く理解すると考えています。もし、そうでなければ自分たちが体験を通して学んだことの素晴らしさや今後も続いていってほしいという願いを参観者に伝えることはできるはずがありません。

ふるさとのよさを他の人たちに発信することは、自分のふるさとのよさを知り、理解することと深くつながっています。このことは冒頭で述べた、日本のよさを理解し、海外の人たちに知らせ、理解してもらうことと何ら変わりはないことだと考えています。



6年生 恵南豪雨災害について学ぶ
校地内にある災害時用簡易トイレ
について体験活動を行いました

Topic

■生活科、社会科見学

今年度の生活科、社会科見学は11月4日(金)に1, 2年生が東山動物園、3年生が恵那峡、協和ダンボール、8日(火)に5年生が木曽三川公園、6年生が明治村、11日(木)に4年生が美濃和紙の里会館、うだつの上がる街並みにそれぞれ行ってきました。遠方まで出かけて実際に見聞きする貴重な体験活動です。また、一年の行事の中でも上矢作っ子が最も楽しみにしている行事のひとつです。



1, 2年 東山動物園



3年 協和ダンボール



4年 美濃和紙の里会館



5年 木曽三川公園



6年 明治村

■恵那市小中学校教育研究会 社会科の公開授業

恵那市では年に4回、小中学校の教科専門に分かれ授業を中心に研究会が行われます。10月26日(水)は小学校社会科部会の研究授業として本校6年生の社会科の授業を市内の先生方に見ていただきました。たくさんの先生方が見守る中、緊張することなくタブレットを操ったり、発言したりして学びを深めることができました。参観された先生方からも多くの賞賛のお言葉をいただきました。



■命を守る訓練(シェイク・アウト)

11月2日(水)に命を守る訓練としてシェイク・アウトを実施しました。全国一斉に実施されるのに合わせて行う約5分弱のショート訓練です。現在多くの学校では、火災、震災、気象災害、交通事故、不審者対応、場合によってはミサイル対応に至るまで様々な災害・事故を想定して、年間10数回におよぶ命を守る訓練を行っています。昨年度から回を重ねるごとに、上矢作っ子の真剣さが増してきているように感じます。



■就学時健診

来年度入学してくる児童を対象に11月1日(火)、2日(水)の2日間にわたって就学時健診を実施しました。来年度の入学見込みが1名ということもあり、こども園と連携して、こども園の内科検診と重ねて行い、新入生や保護者の負担を減らすことを考慮しました。また、次年度以降も入学児童が少ないという見込みから、今年度と同様の方法で実施していきたいと考えています。